

第16回総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和5年4月20日（木）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時30分
出 席 者	委員長 山岸 三男 副委員長 佐野 善弘 委員 赤坂 芳則 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 前原 吉宏
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 佐藤 理子
協 議 事 項	「公共交通の在り方について」 美里町の現状について
そ の 他	
閉 会	午前11時27分

2号様式 協議の経過

山岸委員長	定刻になりましたので、皆さんおはようございます。ただいまから、第16回総務、産業、建設常任委員会を開催をいたします。委員全員揃っていますので会議は成立いたしております。 それでは早速委員長挨拶ということで、今日はですねテーマを決めてから第2回目の総務、産業、建設常任委員会で、第1回目にですね、公共交通の在り方についてということで研究テーマを掲げましたので、それについて本日はまず美里町の現状についてということで、皆さんに資料を目の前に準備しました。それらを含めて協議してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 それから、先ほど事務局から建設新聞という新聞社がですね、傍聴したいという申入れがあったということで、まだ見えてませんが、来たときには傍聴を受け入れるということにしたいと思います。以上でございます。 それでは早速始めたいと思います。まず、皆さん御手元に資料を用意してございますので、まず資料の確認をさせていただきます。1枚目が、住民バス運行開始時期という資料、それから2枚目が令和4年度のアンケート集計結果。それから、美里町デマンドタクシー運行事業実施要綱というのがございます。それから、三重県の明和町というところで私たまたまニュースで見ましてですね、3週間くらい前ですかね、三重県の明和町の町長さんが住民の利便性を図るために月5000円か何かの定額で、いわゆるデマンドタクシーの運用を開始しますと紹介していたので、その資料もここに用意していただきました。それから美里町の住民バス時刻表、以上を資料として用意しました。皆さん、手元にありますよね。 （「はい」の声あり） それではまず最初に、事務局からこの資料の説明をしていただきたいと思いますので、目を通していただきたいと思います。 事務局お願いします。 休憩します。
	休憩 午前9時33分 再開 午前9時37分
山岸委員長	再開します。 説明ありがとうございました。できる範囲の資料を用意させていただきました。まず資料の確認っていいですかね、今、結構な数量の資料があるんですけども、これらを一応、検証っていいですか、今後の施策の研究を進める中で事前に皆さんと共通認識を持って情報知識として知っておきたいと思いますので、皆さん1枚ずつ目を通していただいて、これらの分析っていいか解析っていいですか、そういうこと話した上でこれからの研究の進め方についても検討できるのかなと思いますので、資料を皆さんに目を通していただくということで、休憩してそのまま分析に入りたいと思います。

	休憩します。
	休憩 午前9時39分 再開 午前10時27分
山岸委員長	再開します。 ちょっとまとめてね。大体、話出ました。まず、1点目は先ほどアンケートの中から、利用者は大体10代が1番多いっていうので高校生の通学等々と年配の75歳以上、10代と75歳以上の方がとても利用者が多いと分かりました。この利用者の満足度の少数派っていうのはアンケートならば数が少ないんですけども、これを聞き取り調査するっていうのも一つの進め方ですね。 1点目はよろしいですかね。1番利用者数の多い10代と75歳以上。それ以外の方々の中でもこういうアンケート調査結果としてまだそれに満足してない方、不満の方が何%、何人かいるわけですよね。
佐野副委員長	ちょっと委員長、住民バスで利用する方っていうのは免許のない方が主だと思うんですが。だから、その10代と高齢者の間は自分で免許あるから乗らないんですよね。対象者にならないということだから。だから、中の人が不満を持ってるのかそういうことではないと思うんですけど。
前原委員	そのとおりですね。委員長いいですか。 （「どうぞ」の声あり） 私さっきも言ったんですけども、今回の研究テーマの目的が公共交通の在り方についてということで、今後の公共交通を考えた場合、免許返納者がどれだけ増えるか、2025年問題で変わるかと思うんです。それに対して、今後の公共交通を考えたときに今副委員長が言っていたように、免許のある方が免許がなくなるわけですよね。そのときどうするか。そういう捉え方は私は必要だと思うんです。今利用してる人に対するアンケートじゃなくて、今後の在り方ですよね。町場の人たちの考え方と本当に買物に行くにしても大変な人たちがいるわけですから。そういう方たちの実態を調査するのが私は普通じゃないかなと。
山岸委員長	いわゆる免許返納者は高齢者、後期高齢者はその世代がこれから免許返納者が増えていくだろうと思います。その年齢の方々に対する対応という今後の在り方っていうことで考えれば、そういう方々にデマンドだったり、バスだったりのことについてアンケート取るとか聞き取りをするっていう作業をするっていうのはどうですか。そういう進め方。 （「私はいいいです」の声あり）
赤坂委員	それももちろん必要だし、我々もいずれミーティングをするようになるね。だからそれも今後取り組む内容に入れたらいいんじゃない。これだけということじゃなくて。やっぱ時間帯の問題や路線の組立てから。1回体験ももちろんしてみなきゃいけないと思うし。だからそういう項目を少しピックアップして、どこから取り組むかは順番は後で決めるんですけどね。取り組む項目を少しみんなから出してもらって並べていったらいいんじゃない。アンケートとるのも一つの項目だし。

山岸委員長	今ね、赤坂さん言ったとおりなんだけど。公共交通の在り方についての項目を今出てきてますけども、ほかにありますか。時刻表の問題、バス停の問題、いろいろあると思うんですが。 （「休憩いれたら」の声あり） 休憩します。
	休憩 午前 1 0 時 3 4 分 再開 午前 1 1 時 2 5 分
山岸委員長	再開します。 今皆さんに協議していただき次回の取組について決定しました。 今回は 9 時 30 分に集合して、9 時 42 分役場発、10 時 19 分大崎市民病院着のバスに乗り、12 時 11 分役場着のバスで帰ってくる。実際バスに乗って実態調査をするということに決しました。午後 1 時 30 分から午前中にバスに乗った感想等を調査していただくということで。それで次回の常任委員会を 5 月 11 日の木曜日 9 時半に開会をいたします。よろしいですね。 （「はい分かりました」の声あり） 本日のところはこの辺にしておき、常任委員会を閉会したいと思います。佐野副委員長閉会の挨拶をお願いします。
佐野副委員長	総務、産業、建設常任委員会、大変御苦労さまでした。 公共交通の在り方ということですね、今後調査した中でいろいろですね、実態を踏まえた中でまとめていきたいと思いますので、皆さんの御協力をお願いします。大変御苦労さまでございました。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年4月20日

総務、産業、建設常任委員会

委員長